

申37号

黒字化までの努力と好業績結果に踏まえ、真の笑顔と活気あふれる生活を実現し、

明日への活力となる夏季手当補給を求める申し入れ（エルダー関係）申し入れ

団体交渉を行う！

6月7日 13:30～

退職金を切り崩しつつも黒字化を支えたエルダーの仲間の苦勞を考えれば

夏季手当の補給は当然だ！

エルダーの仲間の
思いに一切報いない
会社姿勢が明らかに

そもそも

- 物価上昇が生活ひっ迫に直結。平均賃金で大きく本体を下回るからこそ退職金が日々目減りしていく現実にエルダー社員の仲間は物価上昇を実感！
- このような状況下で労働力をどのように確保しようと考えているのか
- 「労働条件向上を通じた社員・家族の幸福の実現」とは何を指しているのか
- 休日出勤増で助成金が支給されない、はシステムの崩壊だ！

好業績を支えたのは間違いなくエルダーの先輩方の努力もあってこそ

「本体同等の水準とすべく夏季手当追加補給」を強く主張も対立！

エルダー社員として働く仲間たちは賃金面のみならず、劣悪な労働条件下で好業績を支えてきたことからこの間の苦闘に会社として応えることを厳しく指摘！

申37号交渉で
明らかになった 会社の認識・考え方

- エルダー社員は雇用保険からの給付もある。生活水準とは個々人で差はあると考えている。
- 「夏季手当は不足」「ベア 6,000 円は少ない」という声は受け止めるが、他企業や世間相場と比べても水準は不合理とは思っていない。現情勢踏まえての総合的な判断である。
- 「新入社員より少ない」という声も受け止めるが、新入社員には無い給付がある。前提が異なっている。
- 実質賃金低下は受け止めている。しかし物価上昇に応じて上げるという考えはない。
- エルダー社員にも福利厚生は用意している。処遇改善を考えていないわけではない。
- 高齢者雇用安定法が今後義務化される場面も想定している。その時点での見直しもありうる。
- 70 歳まで雇用は努力義務としつつも高齢者求人求職情報提供サービスを行っている。この間情報を求める人は 400 名程度、採用は 100 名ほど。グループ会社中心に 20 社弱が求人を行っている。
- 処遇改善について様々要請はしてきているがグループ会社が判断することで当社から口は出せない。しかし当社が労働環境を提供している所は優先順位を設けて随時改善を図っていく。
- 安心して働いてもらうことが重要。引き続き把握に努め、改善点があればグループ会社へ伝えていく。

手当一時金が業績反映・業績連動、であれば還元を行うことは極めて当然だ！

安全に働ける労働環境と安心して生活できる労働条件向上に向けて引き続きすべての仲間で声をあげていきましょう！

社員・家族の幸福の実現を具現化するために輸送サービス労組は要求を継続し続けていきます！